

デタラメ シーズンⅡ

よみびとしらず
詠人不知

うだつのあがらない小生は、さつきから「ウゝ」とうめき声ばかりをあげている。

それもそのはず、『う』から脱する事がなかなか出来ないのだ。

厳密には『う』が出ないと言っておいた方がいいのだろうか。

そんな事を考えながら、先程から一人悶々としやがみこんでいる次第だが、ネクストステイジ『え』はもう間近なはずだ、と己で己に自己暗示をかけるも、どうも胡散臭くてしようがないのだ。

なぜに、なにゆえに、『う』を脱せないのだ。

あんなにも『あ』や『い』は、あっさり通過したではないか、バカっ。

不確かな記憶を辿れば、小生は家からダラダラと歩いて十分もかからない所に位置するパン屋にいる。

あ、今日は近所で幼なじみの海ちゃんに、ぼったり遭遇して、しどろもどろやっていたものだから、厳密には十五分かかったではないか。

まあそんな事はどうでもいいのだが、・・いや、海ちゃんの事は、どうでもよくないのだが、時間の事はどうでもいいのであって、決して海ちゃんの事をどうでもいいと言いたかったわけではなくて、今日のパン屋までかかった時間のみが、どうでもいいのであるのだから、読者諸君には間違えないでいただきたい。

ちなみに、小生はカレーパンが好物でいつもいただきます、という事を付け加えておこう。

さもすると、先程、冒頭で、『う』から脱せないあまりに、ぼくつとして、あっさり通過したなどと言っておりましたが、これは完全に小生の見栄が見え見えのバレバレではないか、バカッ。

しかしながら甘いものが苦手だと考えれば、結構頑張った方でございます。

い、今、きてます・・・。

誰がって？

海ちゃんじゃないよ。

う、う、う、ウゥ。

ダメだ。

先程、読者諸君が、小生と海ちゃんの遭遇、のちにパン屋のくだりを勝手に想像し、思い思いのキャストで映像世界を作り上げていた頃、小生は己で己に浣腸するという、ある種、汚い行為で『う』から抜け出そうとしていたのだ。

さもなければ、もうネクストステージもいじらしい。

甘いものが苦手なのに、大好物のカレーパンを今日はただかず、頑張ってアンパンを・・・ああああああん。

つい口から出てしまった・・・。

なぜに、なぜゆえに、そっちから・・・。

追記として、また最初から始める事を余儀なくされ、次はアップルパイ、のちに椅子、いちかばちか海ちゃんへアタックするも、あっさりフラれ、またもネクストステージ『え』に辿りつけなかったのは、言うまでもない・・・。